

政策5

自然と調和し快適で住みよいまちづくり



5 - 1

快適な生活環境の形成

5 - 2

市民生活を支える交通網の充実

5 - 3

快適で便利な居住空間の創出

5 - 4

安全・安心な水環境の形成



5-1 快適な生活環境の形成

SWC掛田地区市道整備事業

担当課 土木課

3,600万円

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	2,220	1,380

【目的】

市民の健康意識を創出し、安心して歩くことができる道路を霊山町掛田地区をモデルとして整備します。

【実施内容】

将来的なまちづくりと連携した、安心して歩くことができる道路の整備

○市道整備延長=167m (北町西裏線)

【前年実績・効果】

全555mのうち388m完了



平成 28 年度 整備道路

新規

地球温暖化対策実行計画 (事務事業編) 作成業務

担当課 生活環境課

1,251万円

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	251	1,000

【目的】

2030年度に伊達市の公共施設が排出する温室効果ガスの排出量を2013年度比で40%削減するための計画を策定します。

【実施内容】

伊達市の公共施設から排出される温暖化効果ガスの排出量を算出し、温暖化効果ガスの排出削減施策を検討します。

不法投棄防止活動事業

担当課 生活環境課

265万円

財源 (万円)	市の負担
	265

【目的】

廃棄物の不法投棄を未然に防止することにより、生活環境の保全および公衆衛生の向上を図ることを目的とします。

【実施内容】

○廃棄物不法投棄監視員による市内の不法投棄がされやすい箇所の巡視および監視

○市内の不法投棄がされやすい箇所への監視カメラの設置

【前年実績】

33名の監視員による監視地域の巡視と2台の監視カメラの設置を行いました。

廃棄物再資源化支援事業

担当課 生活環境課

182万円

財源 (万円)	市の負担
	182

【目的】

廃棄物のリサイクルを推進するため、新聞・雑誌・段ボールなどの古紙類を回収し、再資源化している市内の町内会、PTA、子ども会、老人クラブなどの団体に対し、その回収量に応じ、奨励金を交付します。

【実施内容】

奨励金は、廃品回収業者に引き渡した古紙類の重量に応じ、1kg当たり2円を支給しています。

【前年実績】

○申請受付件数 131件 回収量 593t

小型家電リサイクル事業

担当課 生活環境課

3万円

財源 (万円)	市の負担	
	1	2

【目的】

デジタルカメラやゲーム機などの使用済小型電子機器などの回収を行い、ごみの減量化を図るとともに、希少金属などの再資源化を促進します。

【実施内容】

市内の公共施設11施設（市役所・総合支所・各中央交流館・伊達地方衛生処理組合）に回収ボックスを設置し、使い終わった小型家電を回収し、再資源化を促進します。

【前年実績】

○回収量 3,391kg

新エネルギー推進事業

担当課 生活環境課

640万円

財源 (万円)	市の負担	
	1	2

【目的】

住宅に太陽光発電システムを設置した住民に、その費用の一部を補助することにより、再生可能エネルギーの普及を図るとともに、地球温暖化の防止を図ります。

【実施内容】

導入した太陽光発電システム1kW当たり2万円を補助します。

※4kWを上限（最大8万円）

【前年実績】

○申請受付件数 85件

5-2 市民生活を支える交通網の充実



新多目的交通システム事業

皆さんの足を確保します

担当課 総合政策課

7,386万円

【目的】

商店街の活性化や地域住民の足を確保するため、商工会で実施している「まちなかタクシー」に対し、補助金などを支出します。

【実施内容】

- ほばらまちなかタクシー運行補助
- 霊山・月舘まちなかタクシー運行補助
- 梁川・伊達まちなかタクシー運行補助
- 国見まちなかタクシー運行負担金

【前年実績】

利用者

- 保原 28,296人
- 霊山・月舘 12,556人
- 梁川・伊達 15,700人

財源 (万円)	市の負担		国・県の負担
	1	2	
	6,908		478



まちなかタクシー

阿武隈急行支援事業

担当課 総合政策課

1,413万円

財源 (万円)	市の負担
	1,413

【目的】

阿武隈急行線を安全に運行するために、阿武隈急行(株)が行う橋やトンネルの修理、路線の整備などに県や沿線市町と協調して補助金を交付します。

【実施内容】

- 阿武隈急行(株)へ補助金の交付

【前年実績】

- 主な駅の乗降者数 (平成28年12月31日現在)

上保原駅	124,039人	保原駅	305,633人
大泉駅	157,764人	梁川駅	134,770人



阿武隈急行 (政宗ブルーライナー)

地方バス路線運行事業

担当課 総合政策課

722万円

財源 (万円)	市の負担
	722

【目的】

市民の日常生活に必要なバス路線を維持するために、運賃収入だけでは採算が取れない路線に対し、関連する市や町で経費の一部を補助します。

【実施内容】

- 乗合バス運行事業者へ補助金の交付

【前年実績】

- 輸送人員 936,859人 (12路線合計)
(集計期間 平成27年10月1日～平成28年9月30日)



バス車両

市町村代替バス運行事業

担当課 総合政策課

1,737万円

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	1,555	182

【目的】

霊山地域の小中学生の通学などにも利用され、地域住民の足として欠かせないバス路線について、運行を維持するため、交通事業者へ補助します。

【実施内容】

- 乗合バス運行事業者へ補助金の交付

【前年実績】

- 輸送人員 32,314人 (3路線合計)
(集計期間 平成27年10月1日～平成28年9月30日)



バス車両

高速道路対策事業

担当課 高速道路推進室

3,786万円

財源 (万円)	市・県の負担	
	市の負担	国・県の負担
	2,512	1,274

【目的】

復興支援として相馬福島道路（自動車専用道路）の整備が国により急ピッチで進められ、平成29年度中には（仮称）阿武隈東IC～（仮称）霊山IC間の開通が予定されています。残る区間の（仮称）霊山IC～（仮称）国道4号IC間の早期開通へ向けて、国から事務委託を受け、用地取得を行っています。

【実施内容】

- 用地事務受託（土地などの取得および物件移転などの契約事務） 補償契約額 5億円
- 高速道路対策事業（事務委託） 1,274万円
- 高速道路用地取得事業 2,512万円

【前年実績】

- 補償契約額 9億1,082万円
- 高速道路対策事業（事務委託） 1,966万円
- 高速道路用地取得事業 403万円



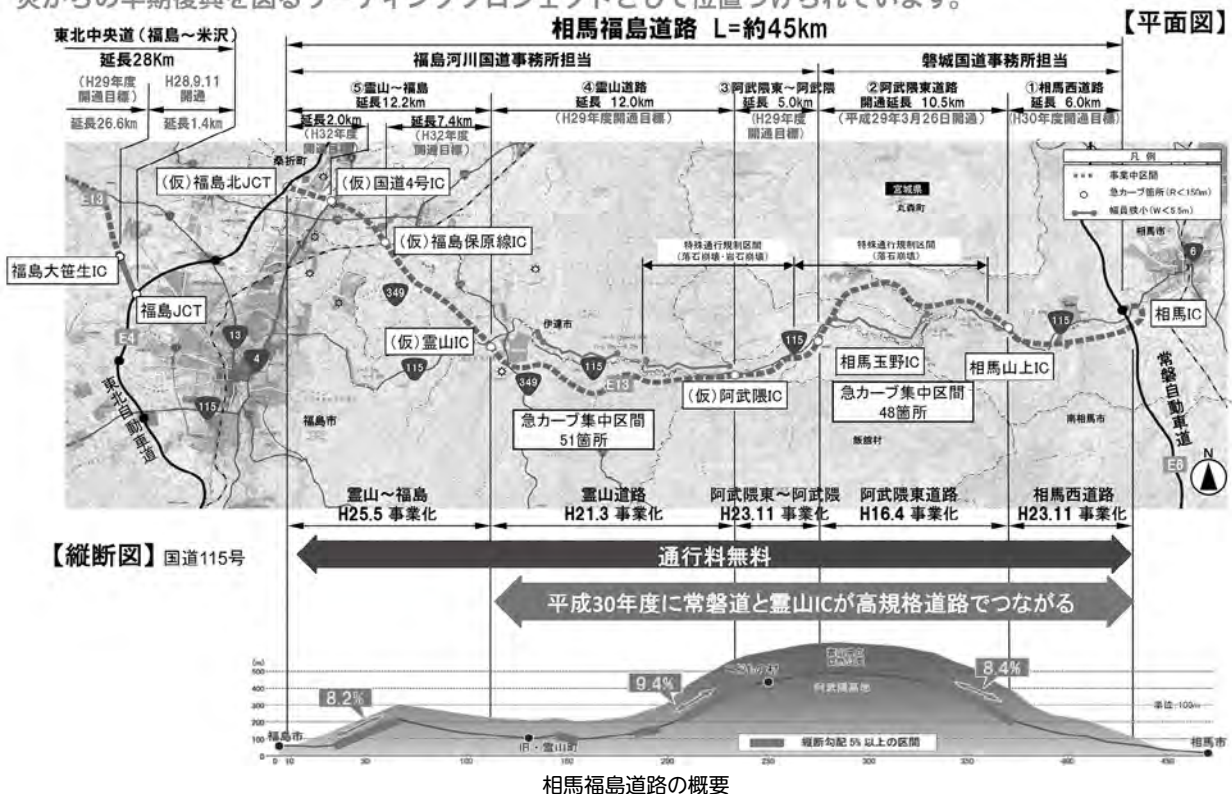
（仮称）霊山 IC の工事状況（平成 29 年 1 月現在）



（仮称）国道 4 号 IC の工事状況（平成 29 年 1 月現在）

【復興支援道路】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。



相馬福島道路の概要

（出典：福島河川国道事務所ホームページ）

道路新設改良事業（新市建設計画）

担当課 土木課

2億4,007万円

【目的】

市内各地域の特性を活かした地域間の交通連携を促進するため、国庫補助金および合併特例債などを活用した道路ネットワークの整備を行います。

【実施内容】（平成28年度繰越事業）

- ①保原地域
 - 上ノ原2号線：相馬福島道路のIC整備に併せたアクセス道路整備
 - 保原箱崎線：上保原地区の幹線道路整備
- ②霊山地域
 - 繕木杉ノ内線：相馬福島道路のIC整備に併せたアクセス道路整備
 - 前地田代線：霊山高原構想に位置付けられた道路整備

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	1億4,987	9,020



市道保原箱崎線
保原町上保原字大地内地区

道路新設改良事業（単独事業）

担当課 土木課

1億4,200万円

財源（万円）	市の負担
	1億4,200

【目的】

市内各地域の特性を活かした地域間の交通連携を促進するため、地方債を活用した道路ネットワークの整備を行います。

【実施内容】

- ①伊達地域
 - 岡前北畑線：伊達地区の生活道路整備
 - 原西3号線：箱崎地区国道399号整備に併せた幹線道路整備
- ②保原地域
 - 西郡山柳田線：保原新工業団地開発に伴う市道整備
 - 宮脇舟橋1号線：保原総合公園拡張に伴う市道整備
 - 大柳高子線：高子駅北地区開発に伴う市道整備
 - 太田中六万坊線：保原町大泉地区の幹線道路整備

さわやか現道整備事業

担当課 土木課

1億7,600万円

財源（万円）	市の負担
	1億7,600

【目的】

安全で快適な生活環境を目指した生活に密着した市道の舗装、道路改良および水路の整備を行います。

【実施内容】

- ①伊達地域
 - 現道舗装 3路線
 - 水路整備 4カ所
 - 測量調査 1カ所
- ②梁川地域
 - 現道舗装 9路線
 - 道路改良 1路線
 - 水路整備 2カ所
- ③保原地域
 - 現道舗装 9路線
 - 測量調査 2路線
 - 水路整備 1カ所
- ④霊山地域
 - 現道舗装 1路線
 - 水路整備 1カ所
- ⑤月舘地域
 - 水路整備 2カ所

平成 29 年度 道路整備箇所図

【対象事業】

- 道路新設改良事業（新市建設計画）
- 道路新設改良事業（単独事業）
- さわやか現道整備事業

【掲載ページ】

伊達地域	P70 ~ 71
梁川地域	P72 ~ 73
保原地域	P74 ~ 75
霊山地域	P76 ~ 77
月舘地域	P78

【伊達地域】

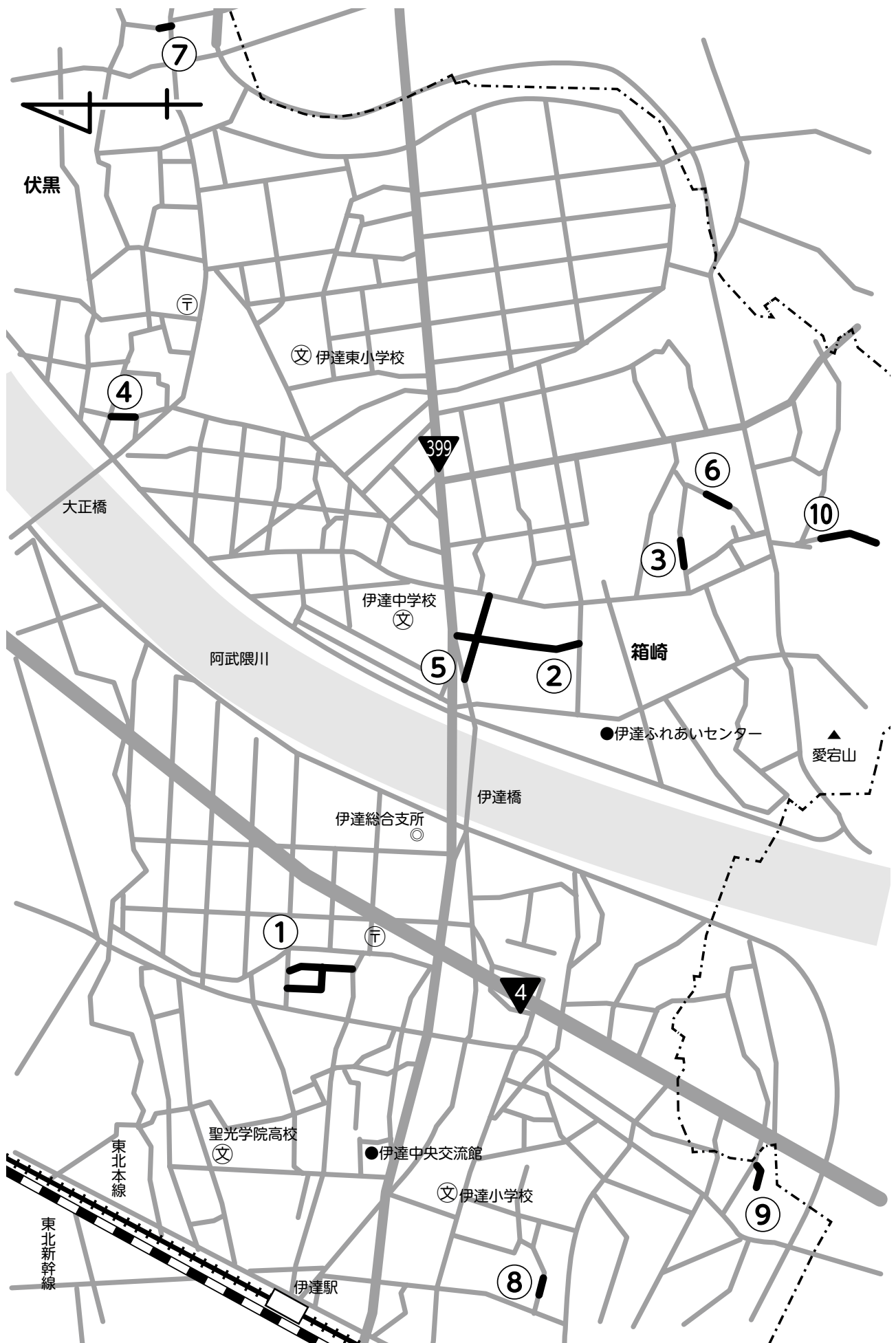
道路新設改良事業（単独事業）

図面番号	場 所	目 的	概 要
①	岡前地内	道路改良舗装	用地補償・工事 長さ = 160m (岡前北畑線)
②	箱崎字原地内	道路改良舗装	測量設計 長さ = 34m (原西3号線)

さわやか現道整備事業

図面番号	場 所	目 的	概 要
③	箱崎字漆宝地内	水路整備	工事 長さ = 50m (漆宝線)
④	伏黒字下大川地内	現道舗装	工事 長さ = 100m (下大川2号線)
⑤	箱崎字原地内	現道舗装	工事 長さ = 150m (原西2号線)
⑥	箱崎字漆宝地内	現道舗装	工事 長さ = 100m (漆宝3号線)
⑦	伏黒字上ヶ戸地内	水路整備	工事 長さ = 20m (上ヶ戸東線)
⑧	中志和田地内	水路整備	工事 長さ = 100m (志和田中央線)
⑨	川原町地内	水路整備	測量調査設計
⑩	箱崎字聖天森地内	水路整備	工事 長さ = 100m (福厳寺線)

※標記の延長は、目安ですので現地精査の結果により増減いたします。

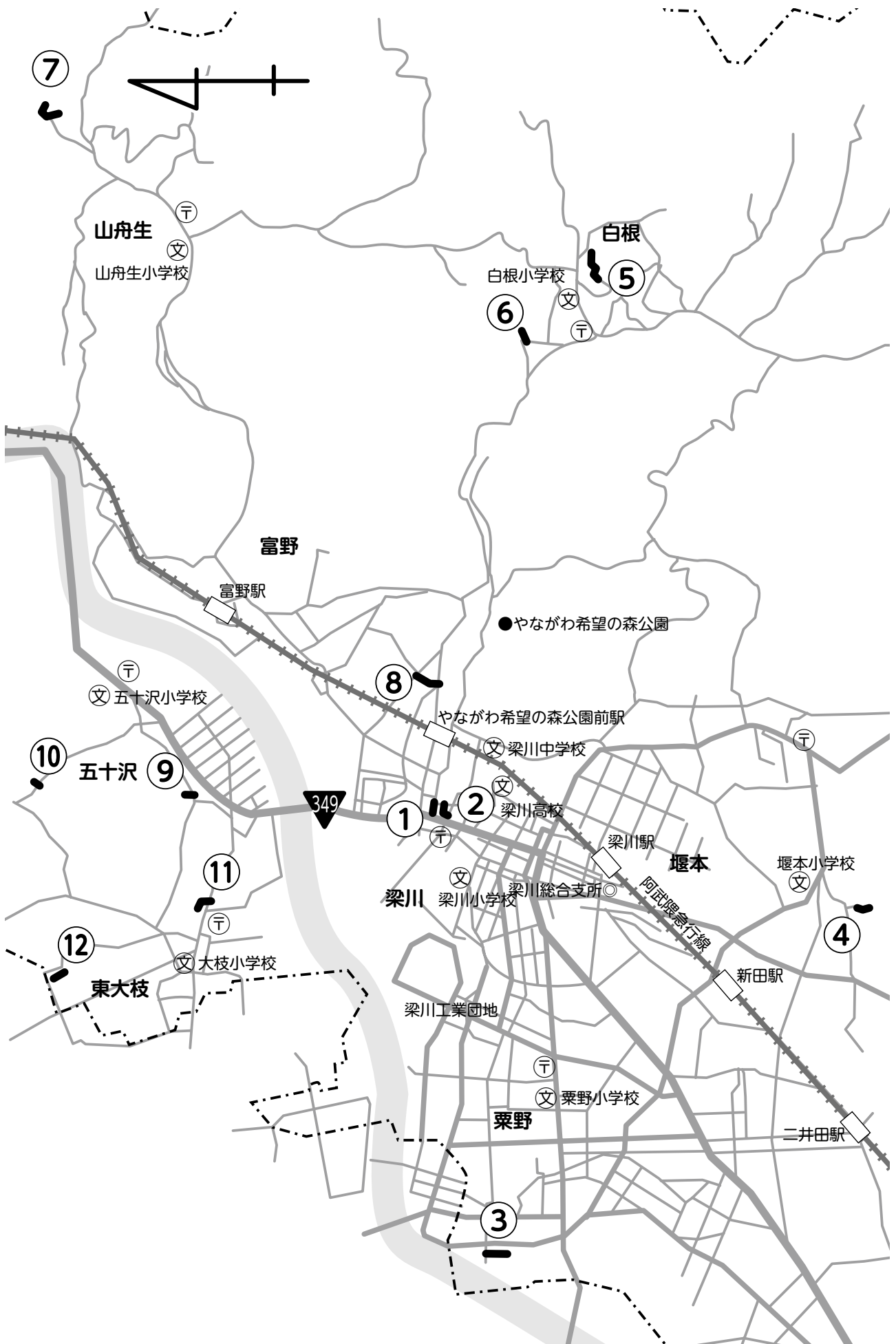


【梁川地域】

さわやか現道整備事業

図面 番号	場 所	目 的	概 要
①	天神町地内	道路改良	用地補償・工事 長さ= 110m (大町天神町線)
②	大町一丁目地内	現道舗装	工事 長さ= 85m (天神町大町線)
③	向川原字新田地内	現道舗装	工事 長さ= 120m (新田2号線)
④	細谷字入ノ内後地内	現道舗装	工事 長さ= 100m (馬下入ノ内線)
⑤	白根字中倉地内	現道舗装	工事 長さ= 160m (小室田五斗五郎内線)
⑥	白根字打越地内	水路整備	工事 長さ= 10m (打越1号線)
⑦	山舟生字石角坊地内	現道舗装	工事 長さ= 150m (櫛脇石橋線)
⑧	富野字熊ノ塚地内	現道舗装	工事 長さ= 180m (熊ノ平2号線)
⑨	五十沢字堰表地内	現道舗装	工事 長さ= 20m (堰表峰線)
⑩	五十沢字北町地内	水路整備	工事 長さ= 15m (新地株木線)
⑪	東大枝字北町地内	現道舗装	工事 長さ= 100m (北町石仏線)
⑫	東大枝字雷神山地内	現道舗装	工事 長さ= 70m (雷神山尾高松線)

※標記の延長は、目安ですので現地精査の結果により増減いたします。



【保原地域】

道路新設改良事業（新市建設計画）

図面番号	場 所	目 的	概 要
①	上保原字田向地内	道路改良舗装	用地補償 長さ = 600m (上ノ原2号線)
②	上保原字大地内地内	道路改良舗装	工事 長さ = 180m (保原箱崎線)

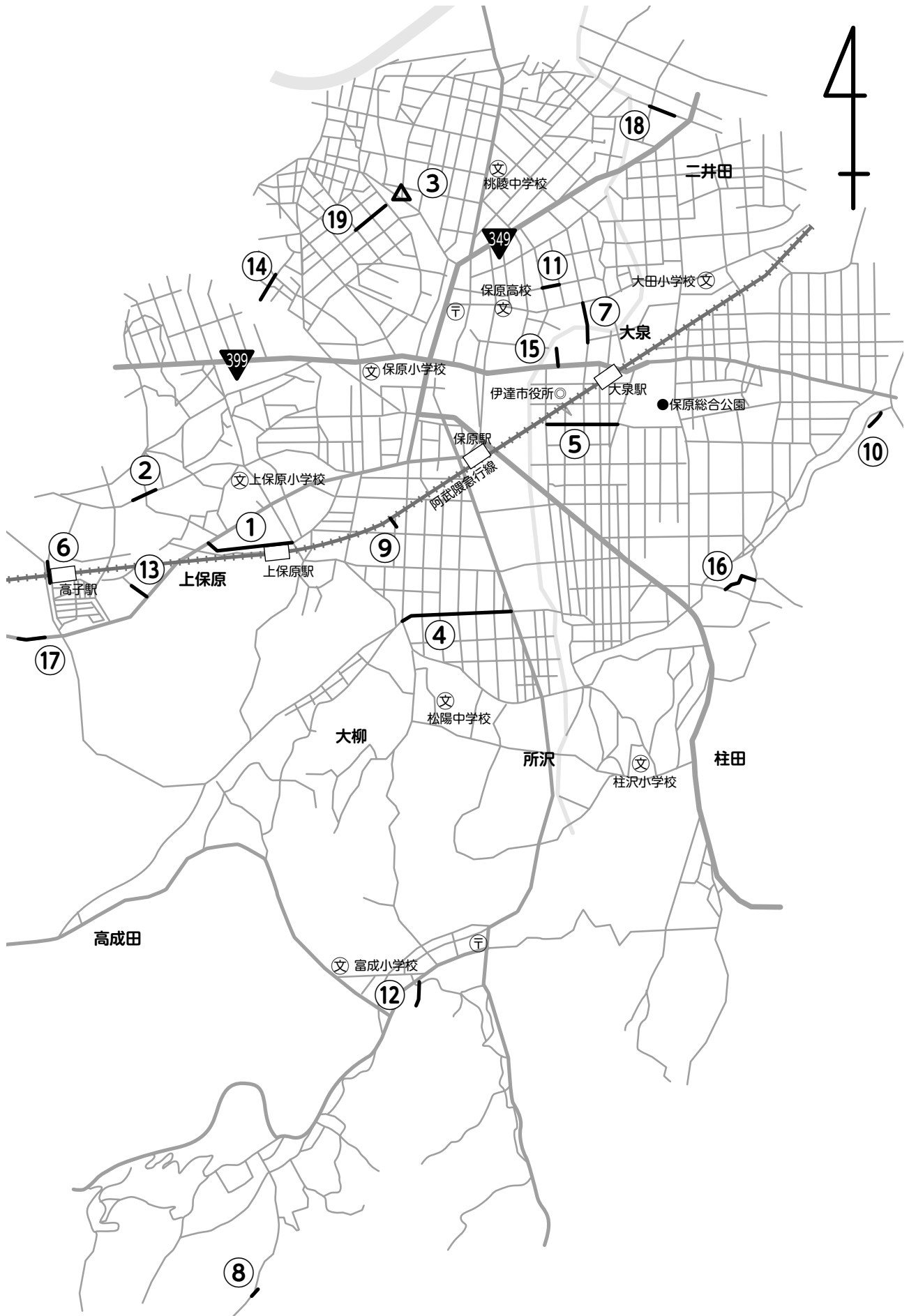
道路新設改良事業（単独事業）

図面番号	場 所	目 的	概 要
③	東台後地内	県事業工事 負担金	古川端橋工事 (東台後中瀬町線)
④	大柳字柳田地内	道路改良舗装	調査設計 長さ = 580m (西郡山柳田線)
⑤	大泉字宮脇地内	道路改良舗装	調査設計 長さ = 900m (宮脇舟橋1号線)
⑥	上保原字西向地内	道路改良舗装	調査設計 長さ = 100m (大柳高子線)
⑦	大泉字大館地内	道路改良舗装	測量調査 長さ = 200m (太田中六万坊線)

さわやか現道整備事業

図面番号	場 所	目 的	概 要
⑧	富沢字四城地内	現道舗装	工事 長さ = 100m (大南四城線)
⑨	字京門地内	水路整備	工事 長さ = 70m
⑩	金原田字中屋敷地内	現道舗装	工事 長さ = 100m (金原田中屋敷線)
⑪	大泉字大館地内	現道舗装	工事 長さ = 100m (11丁目大館線)
⑫	富沢字壇ノ入地内	現道舗装	工事 長さ = 150m (壇ノ入線)
⑬	上保原字新田前地内	現道舗装	工事 長さ = 170m (編照原狸首岡線)
⑭	字小幡町地内	現道舗装	工事 長さ = 150m (小幡町6号線)
⑮	大泉字大地内地内	道路改良	測量調査 長さ = 100m (大地内菖蒲沢線)
⑯	柱田字上ノ寺地内	現道舗装	工事 長さ = 200m (上ノ寺線)
⑰	上保原字大久保地内	現道舗装	工事 長さ = 160m (大久保線)
⑱	大立目字大安寺地内	現道舗装	工事 長さ = 200m (北屋敷縹沼線)
⑲	字小幡町地内	道路改良	測量調査 長さ = 240m (柏町小幡町2号線)

※標記の延長は、目安ですので現地精査の結果により増減いたします。



政策5

自然と調和し快適で住みよいまちづくり

【靈山地域】

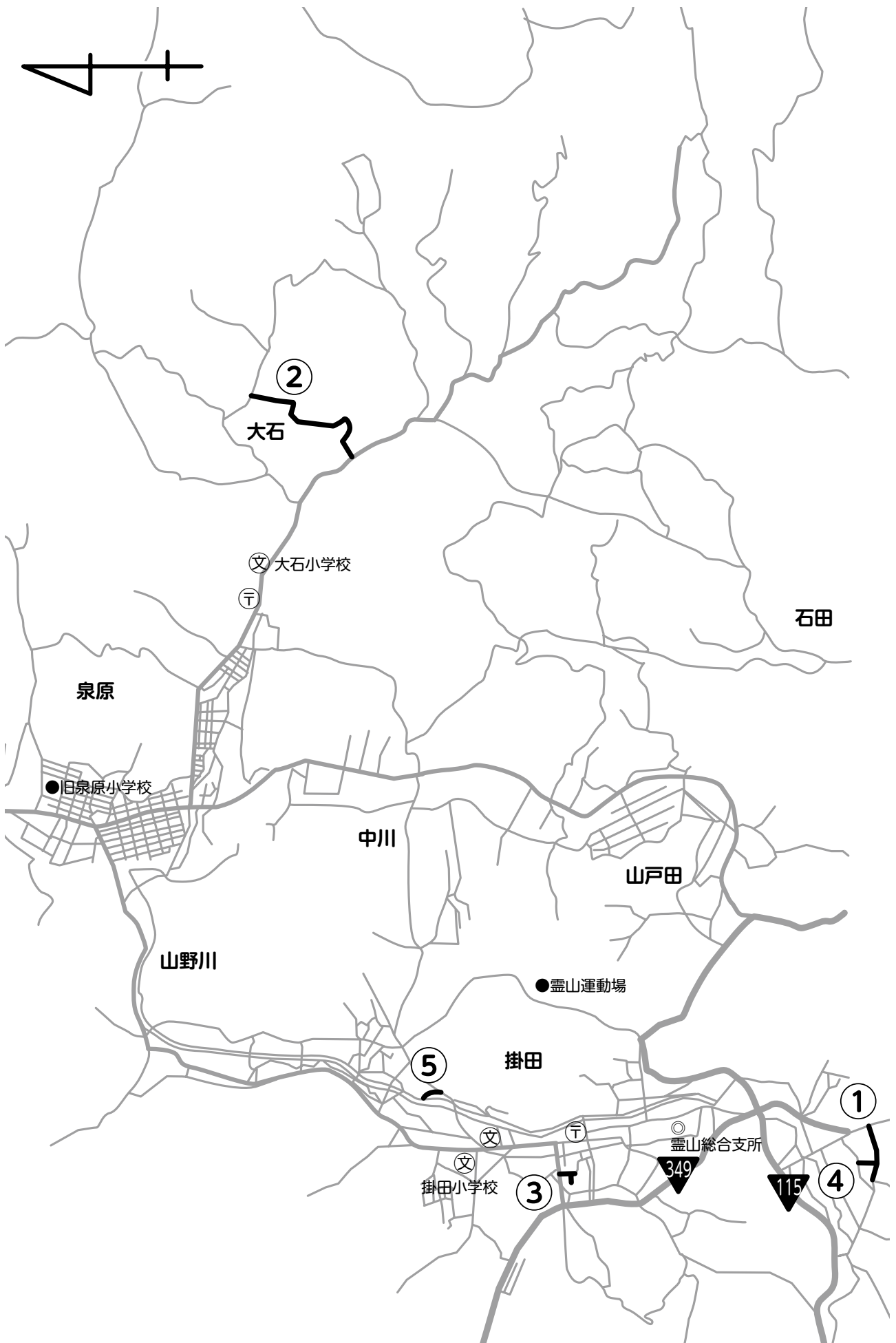
道路新設改良事業（新市建設計画）

図面 番号	場 所	目 的	概 要
①	下小国字繕木地内	道路改良舗装	工事 長さ= 400m (繕木杉ノ内線)
②	大石字前地地内	道路改良舗装	用地補償 長さ= 1100m (前地田代線)
③	掛田地内	道路改良舗装	健幸都市 (SWC) 整備事業 (市道整備) 工事 長さ 167m (北町西裏線)

さわやか現道整備事業

図面 番号	場 所	目 的	概 要
④	下小国字福田地内	現道舗装	工事 長さ= 100m (福田3号線)
⑤	掛田字向戸地内	水路整備	工事 長さ= 100m

※標記の延長は、目安ですので現地精査の結果により増減いたします。

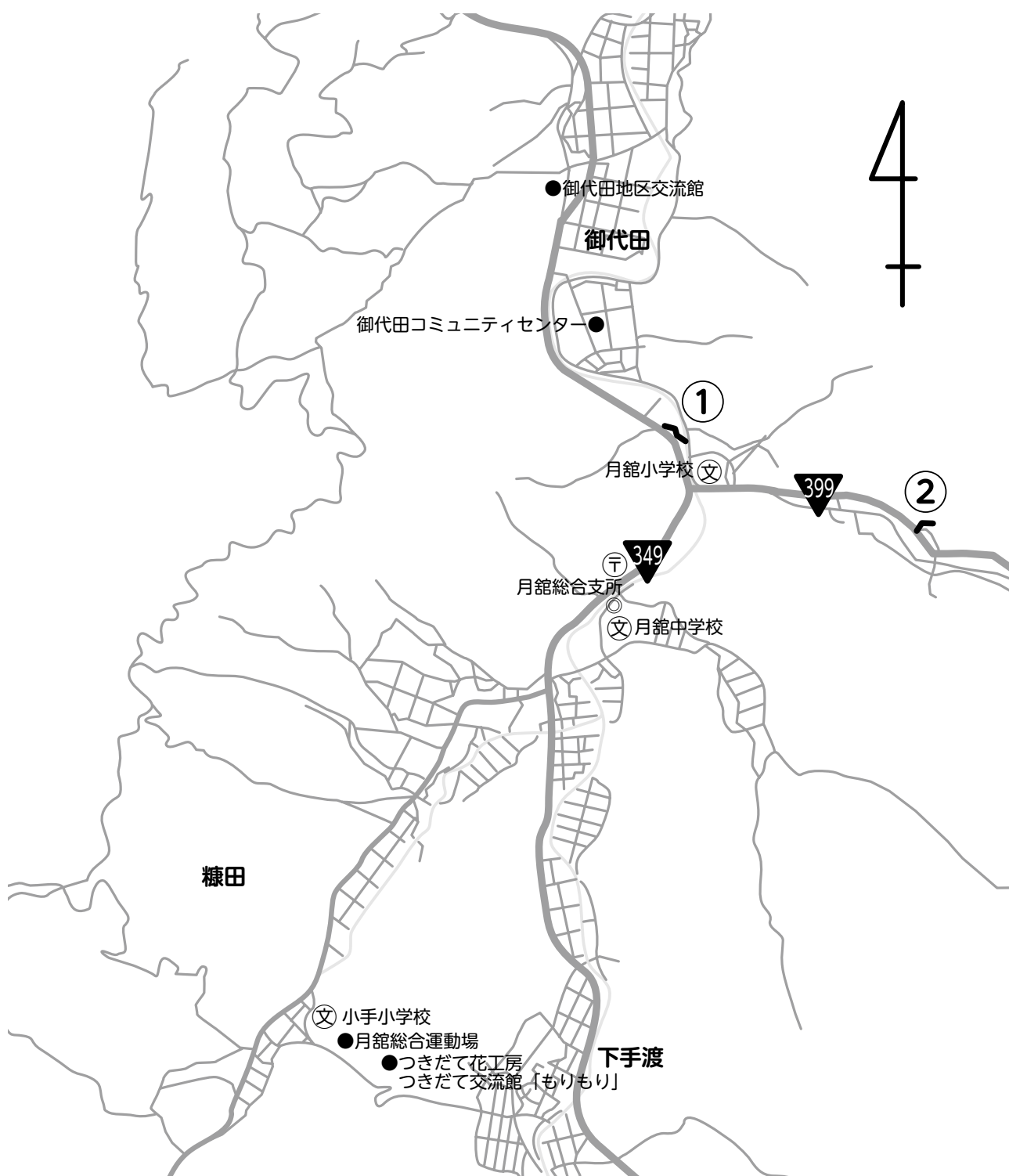


【月館地域】

さわやか現道整備事業

図面番号	場所	目的	概要
①	布川字西原地内	水路整備	工事 長さ = 45m
②	布川字村石地内	水路整備	工事 長さ = 50m

※標記の延長は、目安ですので現地精査の結果により増減いたします。



5-3 快適で便利な居住空間の創出

重点 **新規**

SWG整備事業（白根地区健幸拠点整備事業）

「白根力」を活かした、健幸な地域づくりを目指します

担当課 健幸都市づくり課

1,435万円

【目的】

人口減少、高齢者世帯の増加が進んでいる中山間地域における健康寿命の延伸と地域コミュニティの活性化を目指して、健幸都市モデル白根地区において、市民が運動・スポーツ活動などに親しみ、健康づくりに取り組む場として健幸都市の拠点を整備し、地域特性を活かした健幸都市づくりを目指します。

【実施内容】

健幸都市モデル白根地区における健幸都市拠点の整備に向け、基本計画策定・設計を行います。

財源（万円）	市の負担
	1,435



総合型地域スポーツクラブを目指して活動中の弥平塾

保原総合公園拡張整備事業

担当課 都市整備課

2億6,859万円

【目的】

市民に親しまれている保原総合公園の広域的な利用と市民の更なる健康増進、青少年の健全育成や福祉の向上に資するため、総合的なスポーツ・レクリエーション拠点として、駐車場の増設や公園機能拡充（サッカー場、パークゴルフ場など）を図るため公園の拡張整備を行います。

【実施内容】

盛土工事、駐車場整備工事などに着手します。

【前年実績】

用地買収・実施設計・搬入路工事などを行いました。

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	2億3,859	3,000



保原総合公園拡張区域の整備予定イメージパース

政策5

自然と調和し快適で住みよいまちづくり

伊達駅前整備事業

担当課 都市整備課

2億円

財源（円）	市の負担
	2億

【目的】

伊達駅は、伊達市のJR玄関口と位置付けされていますが、通勤通学など利用車両の増加により、駅周辺が大変混雑している状況にあります。

このため、それらの解消と併せて、駅前および駅周辺を景観や環境に配慮して整備することにより、利用者の利便性向上や街の賑わい創出につなげます。

【実施内容】

伊達駅前の交通混雑解消のために、送迎待機用の駐車場の整備と交通結節点強化のため、駅前をロータリー化し、公共交通の乗り入れを推進します。

【前年実績】

JR伊達駅前の整備方針をまとめた基本計画を策定しました。



現在の伊達駅前の混雑状況

SWC歩きたくなる公園整備事業

担当課 都市整備課

1,108万円

財源（万円）	市の負担
	1,108

【目的】

健康を基軸とした健幸都市の推進に向け、ウォーキングの途中などに立ち寄ることで、気軽に楽しみながら健康づくりができるよう公園などに健康遊具を設置します。

【実施内容】

「歩きたくなるまち」を目指し、気軽に楽しみながら健康づくりが行えるよう、伊達地域の公園などに健康遊具を設置します。

【前年実績】

保原地域の5カ所の公園などに健康遊具10基を設置しました。



弥生町公園に設置した健康遊具

高子駅北地区土地区画整理事業

担当課 都市整備課

900万円

財源（万円）	市の負担
	900

【目的】

伊達市都市計画マスタープランにおいて、定住促進の観点から計画的な宅地整備を推進する地域に位置付けし、「健幸都市基本計画」に掲げる「自然と歩きたくなるまち」の実現のため、土地区画整理事業を支援します。

【実施内容】

伊達市高子駅北地区土地区画整理事業補助金交付要綱に基づき、事業計画の作成に要する費用を補助します。

事業計画者である組合設立準備会に対して、指導、助言などの支援を行います。

【前年実績】

地権者で構成される組合設立準備会と業務代行予定者および市で、事業の推進と協力を目的に、基本協定を締結しました。

自立したまちづくりプラン策定事業

担当課 都市整備課

3,393万円

【目的】

都市計画法に基づく各種調査や、計画の策定業務および市の都市計画マスタープランに基づき、単独都市計画区域の設定に向けた調査検討を進めます。

【実施内容】

都市計画法に基づく基礎調査を行います。

都市計画マスタープランに基づき、単独都市計画区域の設定に向けた調査検討を行います。

【前年実績】

都市計画マスタープラン、(仮)国道4号および(仮)福島保原線IC周辺土地利用構想の策定・見直しを行いました。

伊達市都市計画道路見直し計画に基づき、都市計画の変更図書を作成し法手続きを行いました。

都市計画道路の見直しや地区計画の策定に伴い、都市計画図を更新しました。

財源(万円)	市の負担	その他(販売手数料)
	3,372	21



伊達市都市計画マスタープランの「表紙」

安全安心耐震促進事業(木造住宅耐震診断者派遣事業)

担当課 管理課

176万円

財源(万円)	市の負担	国・県の負担	その他(自己負担)
	54	115	7

【目的】

昭和56年5月31日以前に建築した木造住宅の耐震診断を行うことで、耐震改修を促進します。

【実施内容】

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅(在来軸組工法などによる3階建て以下の木造住宅)の所有者に対し、耐震診断者を派遣します。

【前年実績】

8件の耐震診断者派遣を実施しました。

安心耐震サポート事業(木造住宅耐震改修事業)

担当課 管理課

540万円

財源(万円)	市の負担	国・県の負担
	184	356

【目的】

木造住宅耐震診断者派遣事業による耐震診断の結果、耐震性の不足が認められた住宅に対して耐震改修を行い、震災に強いまちづくりを推進します。

【実施内容】

耐震性が不足している木造住宅の耐震改修(耐震補強)工事を実施した者に対し、工事費の一部を補助します。

①一般改修

工事費の1/2で最大100万円までを補助。

②段階・部分改修

工事費の1/2で最大60万円までを補助。

【前年実績】

一般改修1件、段階・部分改修1件の計2件について工事費の一部を補助しました。

5-4 安全・安心な水環境の形成

上小国地区水道施設整備事業

担当課 施設工事課

1億8,530万円

【目的】

上小国地区の生活用水に関する放射能不安を解消し、避難されている方々の早期帰還および地域の復興再生を図るため、福島再生加速化交付金を活用し、水道施設整備を行います。

【実施内容】

○霊山町上小国上地区

①（4工区）配水管布設工事

配水管口径30~75mm 長さ=1,540m

4号加圧ポンプ場 1基

②（5工区）配水管布設工事

配水管口径50~75mm 長さ= 905m

5号加圧ポンプ場 1基

【前年実績】

○東堤ポンプ場築造工事

敷地造成、受水槽1基

○上小国相原・追分地内（2工区）配水管布設工事

配水管口径75mm 長さ=822m、配水支管口径50mm

長さ=431m

追分加圧ポンプ場 1基

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	8,510	1億20

○上小国相原・追分地内（3工区）配水管布設工事

配水管口径75mm~100mm 長さ=1,200m

仲北加圧ポンプ場 1基

○測量設計業務委託

配水管路実施設計業務委託 長さ=1,310m



梁川地域、山舟生日面地区水道施設整備事業

担当課 施設工事課

5,000万円

【目的】

梁川地域、山舟生日面地区は水道未普及地区で、水道施設の整備要望が高い地区であり、早期に整備を促進するものです。

【実施内容】

○梁川町山舟生字日面地内

①配水管布設工事

配水管：口径50~75mm 長さ=260m

②舗装本復旧工事

舗装工：面積 3,100㎡

【前年実績】

○送水ポンプ設置および減圧井築造工事

圧力タンク付送水ポンプ 2基

減圧井（ステンレスタンク容量=12㎡ 1基）

○日面地区送水配水管布設工事

配水管：口径75~100mm 長さ1,066m

配水支管：口径30~40mm 長さ 441m

財源（万円）	市の負担
	5,000



公共下水道整備事業

担当課 下水道課

2億2,261万円

財源（万円）	市の負担	国・県の負担	その他（使用料・受益額控除）
	1億4,442	6,581	1,238

【目的】

- 河川や水路などの水質保全や快適な生活を営むため、下水道を整備します。
- 家庭などから排出される汚水は国見町にある県北浄化センターできれいな水にして阿武隈川に放流しています。

【実施内容】

- 下水道本管を埋設し各家庭からの汚水を接続するために、整備区間内の宅地に公共柵を設置しています。
- 伊達地域沢田地内・保原地域京門地内・梁川地域大町1丁目地内の約1.2kmを整備します。
- 下水道使用が可能になった市民の皆さんには、下水道に速やかに接続をお願いします。

【前年実績】

平成28年度は約0.8kmを整備し、延べ約127kmの下水道管が整備され、約22,100人の市民が利用できるようになりました。

浄化槽設置支援事業

担当課 下水道課

3,985万円

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	2,415	1,570

【目的】

家庭から排水される生活雑排水をきれいにし、河川や水路などの水質保全のため、下水道や農業集落排水施設を利用できない区域で、合併浄化槽を設置する人に対して補助金を交付します。

【実施内容】

補助金額 16万6,000円～54万8,000円

※浄化槽の大きさや建物の用途によって異なります。

改造などで単独浄化槽や汲取り便所をすべて撤去する場合は、6万円から9万円の範囲で加算します。

市街化区域の中で当面下水道整備ができない区域（※）については、8万4,000円から27万8,000円の範囲で通常の補助金に加算します。

※伊達地区：国道4号線より東側

保原地区：古川より西側

【前年実績】

設置基数 113基